

聖霊降臨の主日

第一朗読：使徒言行録 2・1-11

第二朗読：ローマ 8・8-17

福音書：ヨハネ 14・14-16、23b-26

2025.6.8 9:30 ミサ
カトリック高円寺教会
イエズス会 アン助祭

共同体の皆さん、今日は、わたしたちにとって大きな喜びの日です。なぜなら、主イエス・キリストが約束された通り、聖霊がわたしたちに与えられ、その約束が実現したからです。

わたしたち一人ひとりが聖霊を受け取り、今もその聖霊は、わたしたちのうちに生き、働いておられます。聖霊降臨の日とは、父なる神の霊、そして復活されたキリストの霊が、わたしたちに注がれたことを喜びとともに宣言する日です。

第一朗読、使徒言行録では、聖霊降臨の出来事がルカによって、驚きと感動をもって描かれています。その日、使徒たちは皆、聖霊に満たされ、それぞれ与えられた力に従って、さまざまな国々の言葉で語り始めました。聖霊の導きにより、もはや彼らは恐れることも隠れることもなくなり、人々のもとへ出て行って、救いの福音を大胆に告げ知らせました。その結果、世界中から集まった人々が、キリストにおいて一つの神の民とされていきました。

こうして聖霊に満たされた使徒たちを通して、「教会」という新しい時代が始まったのです。わたしたちが今、属しているこの教会が、まさにそのあかしです。

今日のヨハネ福音書では、復活されたイエスが弟子たちの前に現れ、平和を与え、聖霊を送ると約束される、非常にシンプルな場面が描かれています。しかし、その簡潔なやりとりの中に、わたしたち一人ひとりに注がれている聖霊がどれほど大きな恵みであるかを、改めて実感させられます。

イエスは父なる神のもとへと戻られましたが、わたしたちを孤児のままにはされず、聖霊を遣わしてくださいました。つまり、わたしたちはこの世にあって、決して独りではないのです。聖霊は今もわたしたちとともにおられ、導き、そしてわたしたちがイエスの働きをこの世界で続けていくために力を与えてくださっています。

皆さん、では「聖霊」とは一体どなたなのでしょう。

実は、この問いは、わたしにとってとても難しいものです。わたしはこれまで約2年間、入門講座を担当していましたが、正直に言って、聖霊について明確か

つ流暢に語れたことは一度もありません。それでも、今日の説教では、この難しい問いに向き合いながら、わたしなりに「聖霊」についての思いを、少しでも皆さんと分かち合えたらと思います。

聖書の中で、聖霊はしばしば「息」（ヘブライ語：ルーアッハ、ギリシア語：プネウマ）として描かれます。この「息」である聖霊は、わたしたちとともに、そしてわたしたちを通して、息づくことを望んでおられます。そして、「息」であるがゆえに、目に見える存在として現れることは望まず、わたしたちの内に働く静かな力として、ともにいてくださるのです。

聖霊はまた、わたしたちの心の中に「恵みの目」をもたらしてくださいます。その目を通して、わたしたちは教会や秘跡——とりわけ御聖体——そして、周りの兄弟姉妹の内に、救い主イエス・キリストの現存を見出すことができるのです。

もしかすると、わたしたちは普段、聖霊に直接祈ることはあまりないかもしれませんが、けれども心配しないでください。聖霊は、わたしたちが「アッバ、父よ」と御父に向かって祈るとき、すでにも祈ってくださっています。そして、わたしたちの内なる深い沈黙の中で、聖霊の絶え間ないうめきを通して、神への願いが絶えず捧げられているのです。

聖霊は、常に静かに、そして目立たずに働かれます。ご自身が栄光を受けることを求めず、御子から受けたものをわたしたちに告げることを通して、御子に栄光を与えることを望んでおられるのです。今日の福音書では、イエスは聖霊がわたしたちの弁護者であることをわたしたちに教えられます。イエスはこう言われました。「弁護者、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる」（ヨハネ 14・26）。このように、弁護者である聖霊は、キリストの神秘と教会の真理を、静かに、わたしたちの心の奥底に目覚めさせてくださいます。

最後に、聖霊は、イエス・キリストの証人です。わたしたちの心がイエスの呼びかけに閉ざされないように助け、わたしたちがイエスを知り、愛し、従うように導いてくださいます。そしてついには、永遠のいのちへと招いてくださるのです。

皆さん、要するに、わたしたちは聖霊を目にすることはできませんし、そのすべてを知ることもできません。それでも、確かに聖霊はわたしたちの弁護者として、今もわたしたちとともにおられ、わたしたちの内でも働いてくださっています。そして、その働きは、世の終わりまで続いていくのです。先ほど皆さんとともに歌った「聖霊の続唱」の中に、わたしたちのすべての信仰と確信が込められていました。「あなたの助けがなければ、すべてははかなく消えてゆき、だれも清く生きてはゆけない」。

このミサの中で、キリストにおいて一つの共同体として集まっているわたしたちが、聖霊の導きを更に深く信じ、心を開いて応えていくことができるよう、

ともに祈りましょう。そうするとき、わたしたちの中にきっと多くの実りが与えられるでしょう。そうするとき、わたしたちの中にきっと多くの実りが与えられるでしょう。それは、愛、喜び、平和、忍耐、寛容、親切、誠実、柔和、そして自制といった、聖霊の実りです。

どうか、神である聖霊よ、わたしたちに来てください。アーメン。

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>